

第 43 回「秋田県内企業の景気動向調査」結果
(令和 4 年 2 月調査)

～ 景況感は 2 期ぶりに改善するも、先行きは悪化の見通し ～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲▲7.6（前回調査比 5.4 ポイント上昇）と 2 期ぶりに改善した。「各種D I 値（前年同期比）」では、「売上高」が小幅ながら改善した一方、「営業利益」と「資金繰り」は悪化し、「人員人手」は 3 期ぶりにプラス幅が縮小した。
- **業種別**に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、建設業、製造業、サービス業では 2 期ぶりに改善、卸・小売業では 3 期ぶりに改善と、すべての業種で改善となり、製造業とサービス業は再びプラス超に転じた。
- **地域別**に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲7.9（前回調査比 19.1 ポイント上昇）、中央が▲1.5（同 3.3 ポイント上昇）、県南が▲18.0（同 1.3 ポイント上昇）とすべての地域で改善した。
- **先行き見通し**は、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲25.7（今回調査比 18.1 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

【 特別調査 】

- **雇用調整**についてうかがったところ、令和 3 年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について実施している企業の割合は、「残業規制」が 32.2%（前年調査比 5.0 ポイント低下）、「ワークシェアリング」が 11.1%（同 1.9 ポイント低下）、「従業員の削減」が 4.9%（同 1.4 ポイント低下）と、いずれも前年に比べて低下した。
- **新卒者の採用状況**について、来年度（令和 4 年度）の新卒者の採用状況（採用する）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種では 37.8%（前年調査比 4.1 ポイント上昇）と 2 期ぶりの上昇となった。

令和 4 年 3 月

株式会社フィデア情報総研

目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別DI値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	4
③ 卸・小売業	5
④ サービス業	6
3. 地域別の動向	7
(1) 地域別の概況	7
(2) 地域別DI値の動向	8
① 県北	8
② 中央	9
③ 県南	10
II. 景気の天気予報図	11
III. 特別調査	12
1. 雇用調整について	12
2. 新卒者の採用状況について	13
<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>	14
<参考資料Ⅱ：調査の概要>	14

I. 県内企業の業況

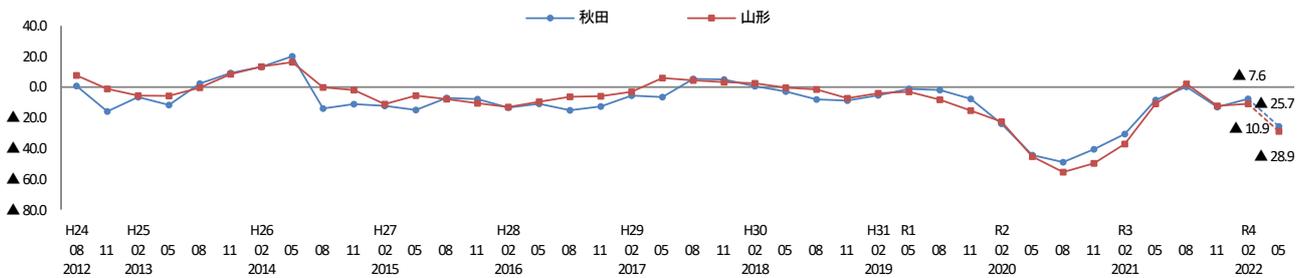
1. 概況

～ 景況感は2期ぶりに改善するも、先行きは悪化の見通し ～

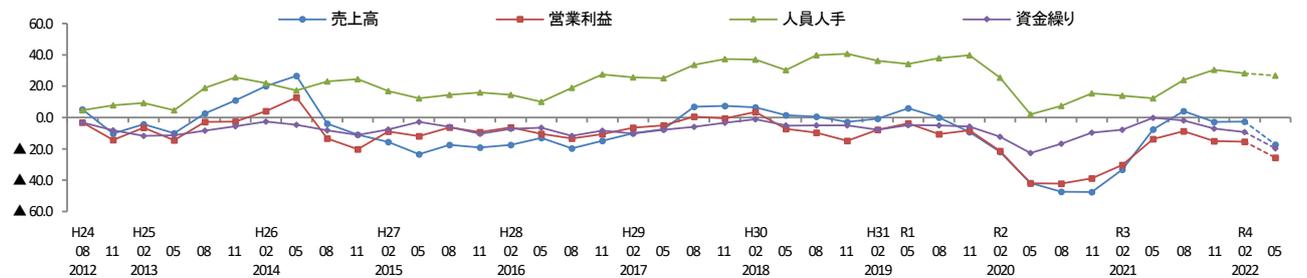
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲7.6（前回調査比 5.4 ポイント上昇）と2期ぶりに改善した。「各種D I 値（前年同期比）」では、「売上高」が小幅ながら改善した一方、「営業利益」と「資金繰り」は悪化し、「人員人手」は3期ぶりにプラス幅が縮小した。

先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲25.7（今回調査比 18.1 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。オミクロン株の感染拡大長期化などでコロナ禍の収束が未だ見通せないなか、ウクライナ情勢などの地政学的リスクの高まりや原燃料高の影響もあり、慎重な見通しとなっている。

図表 1 全業種「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2021.02 (n=368)	▲ 30.7	9.9	▲ 31.6	▲ 33.2	▲ 30.4	13.9	▲ 7.9
2021.05 (n=378)	▲ 8.5	22.2	▲ 37.8	▲ 7.6	▲ 13.8	12.2	▲ 0.2
2021.08 (n=364)	0.2	8.7	▲ 22.8	4.1	▲ 8.8	23.9	▲ 1.9
2021.11 (n=361)	▲ 13.0	▲ 13.2	▲ 15.1	▲ 2.8	▲ 15.0	30.5	▲ 7.0
2022.02 (n=370)	▲ 7.6	(5.4)	▲ 9.1	▲ 2.7	▲ 15.4	28.2	▲ 9.4
前回調査比	-	-	-	(0.1)	(▲ 0.4)	(▲ 2.3)	(▲ 2.4)
先行き見通し	▲ 25.7	-	-	▲ 17.3	▲ 25.7	26.8	▲ 19.8
今回調査比	(▲ 18.1)	-	-	(▲ 14.6)	(▲ 10.3)	(▲ 1.4)	(▲ 10.4)

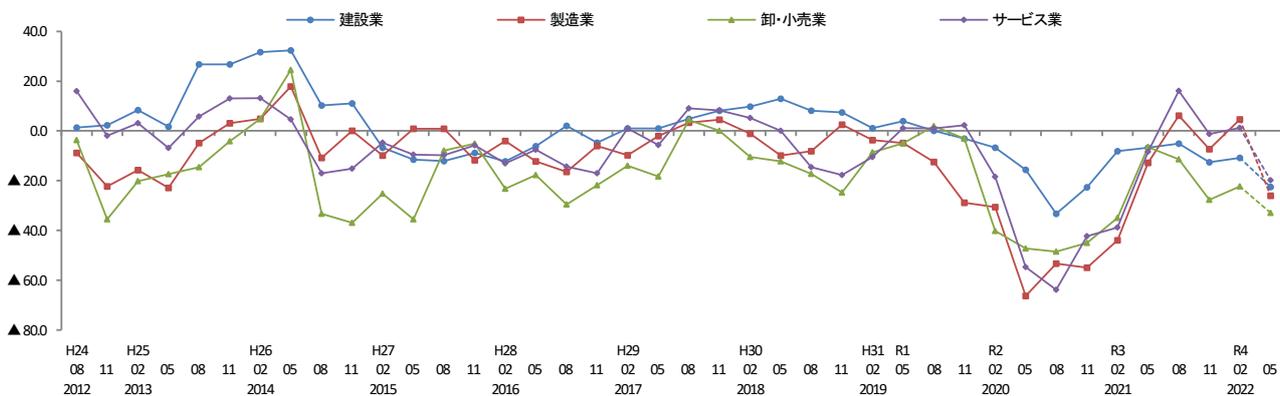
※ 「売上高」D I 値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業、製造業、サービス業では2期ぶりに改善、卸・小売業では3期ぶりに改善と、すべての業種で改善となり、製造業とサービス業は再びプラス超に転じた。業況の先行き見通しは、4業種すべてで悪化が見込まれている。

図表 3 業種別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2021.02 (n=368)	▲ 30.7	▲ 8.1	▲ 44.0	▲ 35.0	▲ 38.8
2021.05 (n=378)	▲ 8.5	▲ 6.8	▲ 12.8	▲ 6.5	▲ 8.4
2021.08 (n=364)	0.2	▲ 5.1	6.1	▲ 11.4	16.1
2021.11 (n=361)	▲ 13.0	▲ 12.6	▲ 7.3	▲ 27.7	▲ 1.2
2022.02 (n=370)	▲ 7.6	▲ 10.8	4.6	▲ 22.3	1.2
前回調査比	(5.4)	(1.8)	(11.9)	(5.4)	(2.4)
先行き見通し	▲ 25.7	▲ 22.6	▲ 26.1	▲ 33.0	▲ 19.8
今回調査比	(▲ 18.1)	(▲ 11.8)	(▲ 30.7)	(▲ 10.7)	(▲ 21.0)

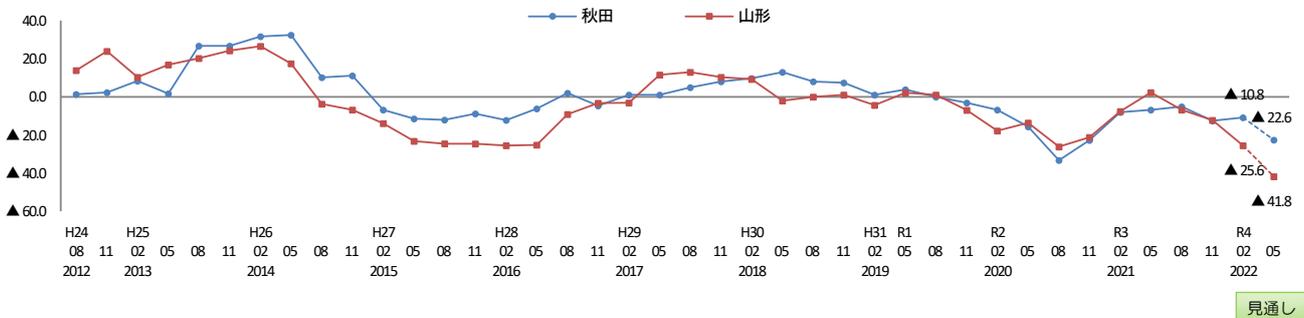
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

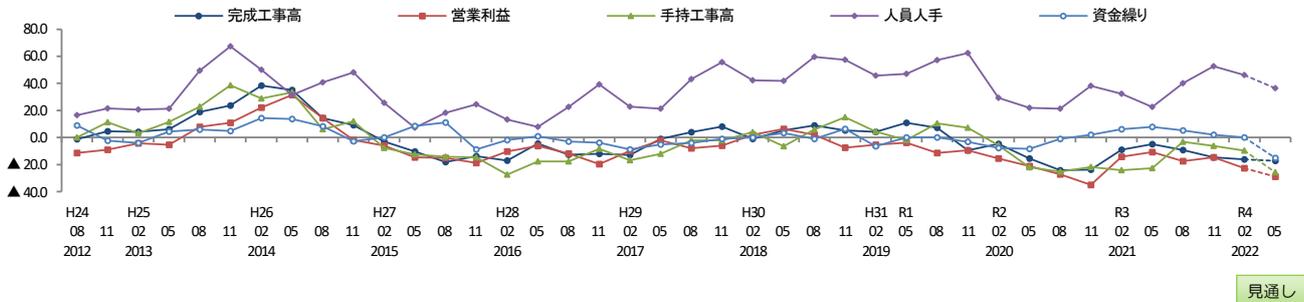
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲10.8（前回調査比 1.8 ポイント上昇）と、小幅ながら 2 期ぶりの改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、4 項目すべてが悪化となり、「人員人手」は 3 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、今冬の大雪により除雪は好調となった一方、木材・資材の価格上昇や供給の遅れ、燃料価格の上昇が続いており、収益や納期に大きな影響を及ぼしている状況がうかがえた。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲22.6（今回調査比 11.8 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

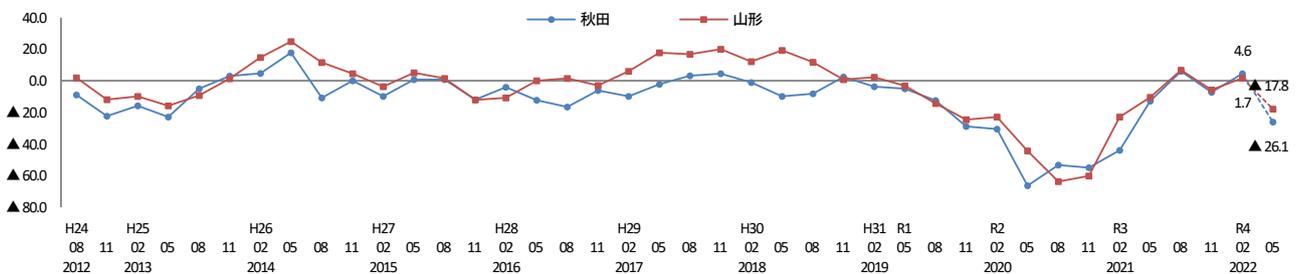
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
2021.02 (n=99)	▲ 8.1	14.6	▲ 27.9	▲ 9.1	▲ 14.2	▲ 24.2	32.3	6.1
2021.05 (n=102)	▲ 6.8	1.3	▲ 29.3	▲ 4.9	▲ 10.8	▲ 22.6	22.5	7.9
2021.08 (n=97)	▲ 5.1	1.7	▲ 19.6	▲ 9.3	▲ 17.5	▲ 3.1	40.2	5.2
2021.11 (n=95)	▲ 12.6	▲ 7.5	▲ 20.7	▲ 14.7	▲ 14.7	▲ 6.3	52.6	2.1
2022.02 (n=93)	▲ 10.8	(1.8)	▲ 13.7	▲ 16.1	▲ 22.6	▲ 9.7	46.2	0.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 1.4)	(▲ 7.9)	(▲ 3.4)	(▲ 6.4)	(▲ 2.1)
先行き見通し	▲ 22.6	-	-	▲ 17.2	▲ 29.0	▲ 25.8	36.5	▲ 15.0
今回調査比	(▲ 11.8)	-	-	(▲ 1.1)	(▲ 6.4)	(▲ 16.1)	(▲ 9.7)	(▲ 15.0)

② 製造業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 4.6（前回調査比 11.9 ポイント上昇）と 2 期ぶりに改善し、再びプラス超となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「在庫状況」と「資金繰り」が悪化した一方、「売上高」などの 3 項目はいずれも改善した。また、「人員人手」はプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、自動車関連や機械製造では、受注は好調ながら海外からの部品供給の遅れにより一部企業で減産を余儀なくされるなど、持ち直しの動きが足踏みしている状況がうかがえた。また、原材料や燃料価格上昇に伴う収益への影響についてのコメントが多く見られた。

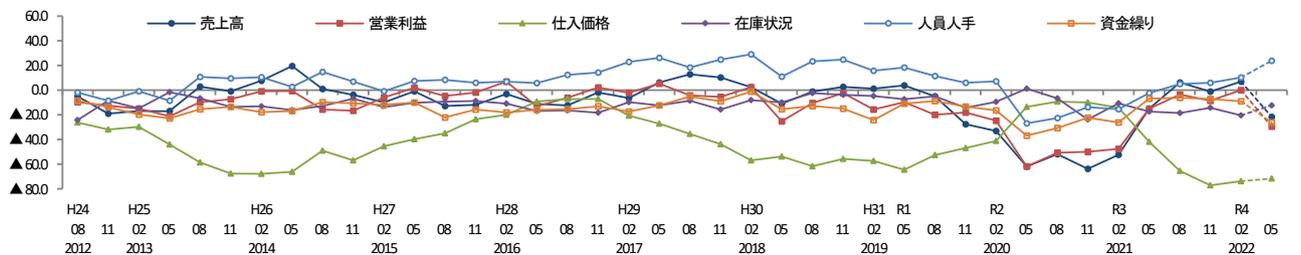
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲26.1（今回調査比 30.7 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 7 製造業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

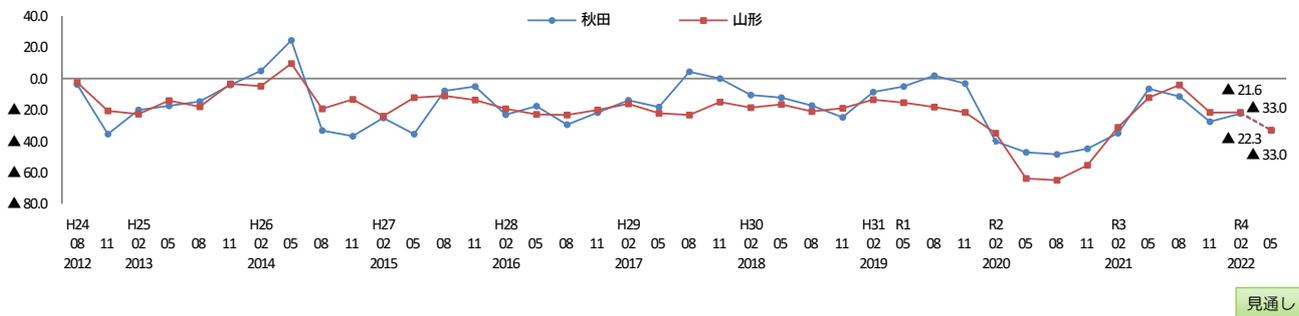
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2021.02 (n=84)	▲ 44.0	11.0	▲ 31.3	▲ 52.4	▲ 47.6	▲ 14.2	▲ 10.7	▲ 15.5	▲ 26.2
2021.05 (n=86)	▲ 12.8	31.2	▲ 35.7	▲ 15.1	▲ 15.1	▲ 41.8	▲ 17.5	▲ 2.3	▲ 7.0
2021.08 (n=81)	6.1	18.9	▲ 11.6	6.2	▲ 3.7	▲ 65.4	▲ 18.5	4.9	▲ 6.2
2021.11 (n=83)	▲ 7.3	▲ 13.4	▲ 3.7	▲ 1.3	▲ 8.5	▲ 77.1	▲ 14.4	6.0	▲ 7.2
2022.02 (n=88)	4.6	(11.9)	▲ 2.4	6.8	0.0	▲ 73.9	▲ 20.4	10.3	▲ 9.1
前回調査比	-	-	-	(8.1)	(8.5)	(3.2)	(▲ 6.0)	(4.3)	(▲ 1.9)
先行き見通し	▲ 26.1	-	-	▲ 21.6	▲ 29.5	▲ 71.6	▲ 12.5	23.8	▲ 26.1
今回調査比	(▲ 30.7)	-	-	(▲ 28.4)	(▲ 29.5)	(2.3)	(7.9)	(13.5)	(▲ 17.0)

③ 卸・小売業

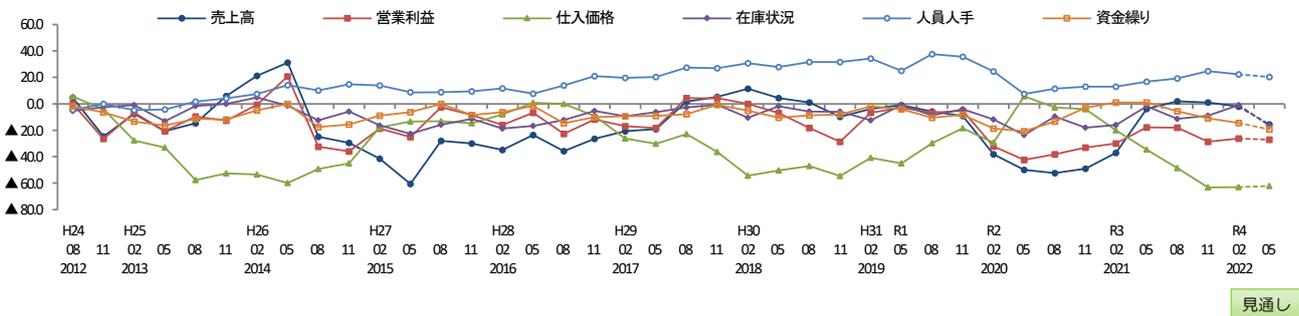
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲22.3（前回調査比 5.4 ポイント上昇）と 3 期ぶりの改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「売上高」と「資金繰り」が悪化した一方、その他の 3 項目は改善し、また、「人員人手」は 7 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、長引くコロナ禍の影響に加え、仕入価格や燃料価格の上昇、半導体不足や輸入停滞による納期遅れの影響もあり、依然多くの業種で業況の厳しさがうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲33.0（今回調査比 10.7 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

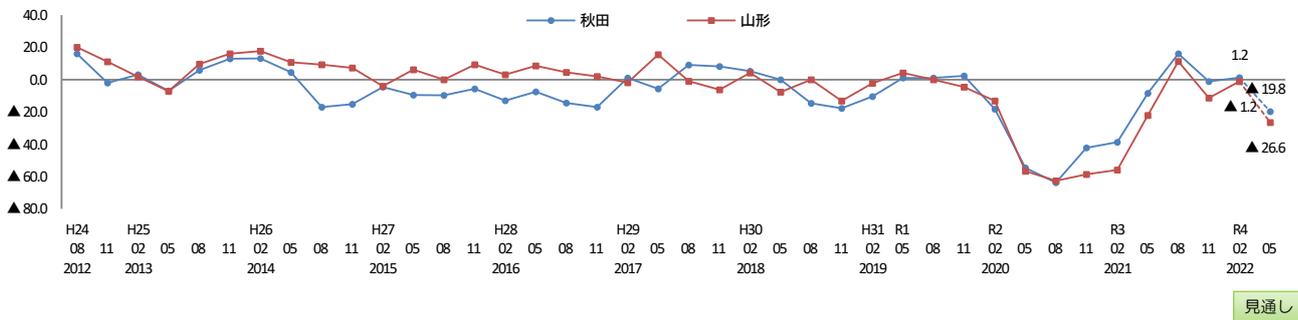
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2021.02 (n=100)	▲ 35.0	10.0	▲ 32.0	▲ 37.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 16.0	13.0	1.0
2021.05 (n=107)	▲ 6.5	28.5	▲ 34.0	▲ 3.8	▲ 17.8	▲ 34.6	▲ 1.8	16.8	1.0
2021.08 (n=105)	▲ 11.4	▲ 4.9	▲ 28.0	1.9	▲ 18.1	▲ 48.6	▲ 11.5	19.1	▲ 5.7
2021.11 (n=101)	▲ 27.7	▲ 16.3	▲ 20.9	1.0	▲ 28.7	▲ 63.3	▲ 8.9	24.7	▲ 10.9
2022.02 (n=103)	▲ 22.3	(5.4)	▲ 16.8	▲ 2.0	▲ 26.2	▲ 63.1	▲ 0.9	22.4	▲ 14.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 3.0)	(2.5)	(0.2)	(8.0)	(▲ 2.3)	(▲ 3.6)
先行き見通し	▲ 33.0	-	-	▲ 15.5	▲ 27.2	▲ 62.1	▲ 16.5	20.4	▲ 19.4
今回調査比	(▲ 10.7)	-	-	(▲ 13.5)	(▲ 1.0)	(1.0)	(▲ 15.6)	(▲ 2.0)	(▲ 4.9)

④ サービス業

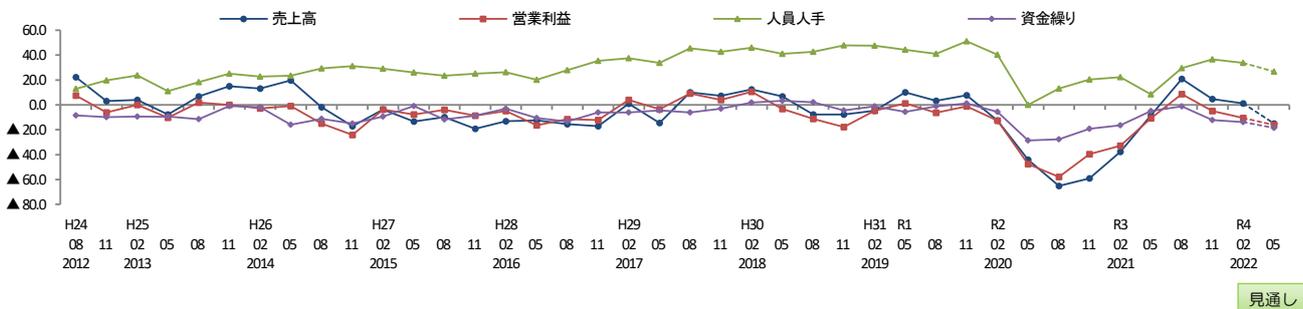
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は 1.2（前回調査比 2.4 ポイント上昇）と 2 期ぶりの改善となり、小幅ながらも再びプラス超となった。「各種D I 値（前年同期比）」でみると、すべての項目が悪化となり、また、「人員人手」では 3 期ぶりにプラス幅が幾分縮小した。各社のコメントからみると、建機レンタルや情報サービスでは堅調な動きがうかがえた一方、オミクロン株の感染急拡大を受けて宿泊業ではキャンセルが相次いだほか、飲食業では来店客の減少が続くなど、コロナ禍による影響が色濃くうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲19.8（今回調査比 21.0 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2021.02 (n=85)	▲ 38.8	3.5	▲ 35.9	▲ 37.7	▲ 32.9	22.4	▲ 16.5
2021.05 (n=83)	▲ 8.4	30.4	▲ 54.1	▲ 8.4	▲ 10.8	8.4	▲ 4.8
2021.08 (n=81)	16.1	24.5	▲ 31.4	20.9	8.6	29.6	▲ 1.2
2021.11 (n=82)	▲ 1.2	▲ 17.3	▲ 12.3	4.8	▲ 4.8	36.6	▲ 12.2
2022.02 (n=86)	1.2	(2.4)	▲ 1.2	1.2	▲ 10.5	33.7	▲ 13.9
前回調査比	-	-	-	(▲ 3.6)	(▲ 5.7)	(▲ 2.9)	(▲ 1.7)
先行き見通し	▲ 19.8	-	-	▲ 15.1	▲ 16.2	26.7	▲ 18.6
今回調査比	(▲ 21.0)	-	-	(▲ 16.3)	(▲ 5.7)	(▲ 7.0)	(▲ 4.7)

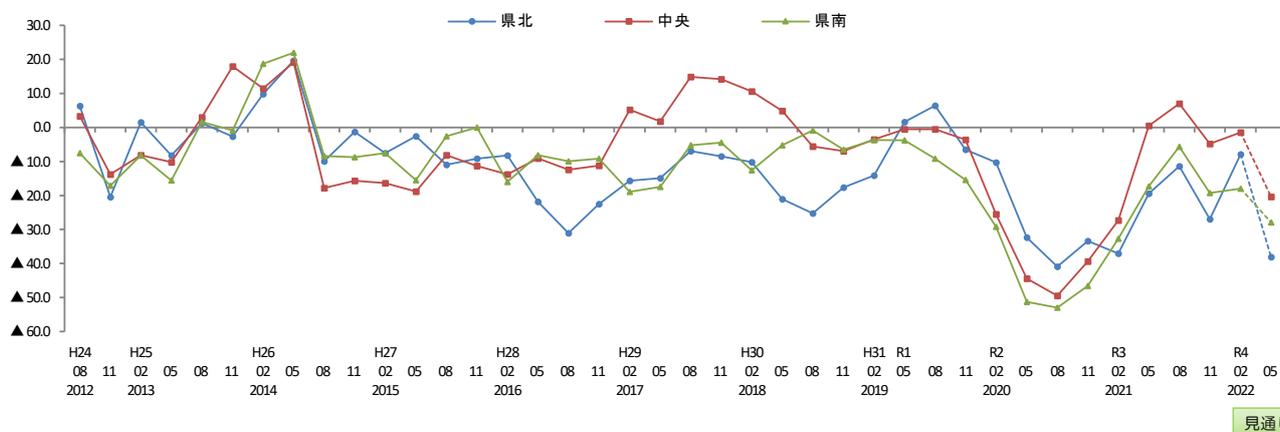
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲7.9（前回調査比 19.1 ポイント上昇）、中央が▲1.5（同 3.3 ポイント上昇）、県南が▲18.0（同 1.3 ポイント上昇）とすべての地域で改善した。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、3 地域すべてで悪化が見込まれており、特に県北地区の悪化幅が大きくなっている。

図表 12 地域別「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
2021.02 (n=368)	▲ 30.7	▲ 37.1	▲ 27.3	▲ 32.7
2021.05 (n=378)	▲ 8.5	▲ 19.4	0.5	▲ 17.3
2021.08 (n=364)	0.2	▲ 11.4	7.0	▲ 5.7
2021.11 (n=361)	▲ 13.0	▲ 27.0	▲ 4.8	▲ 19.3
2022.02 (n=370)	▲ 7.6	▲ 7.9	▲ 1.5	▲ 18.0
前回調査比	(5.4)	(19.1)	(3.3)	(1.3)
先行き見通し	▲ 25.7	▲ 38.1	▲ 20.4	▲ 27.9
今回調査比	(▲ 18.1)	(▲ 30.2)	(▲ 18.9)	(▲ 9.9)

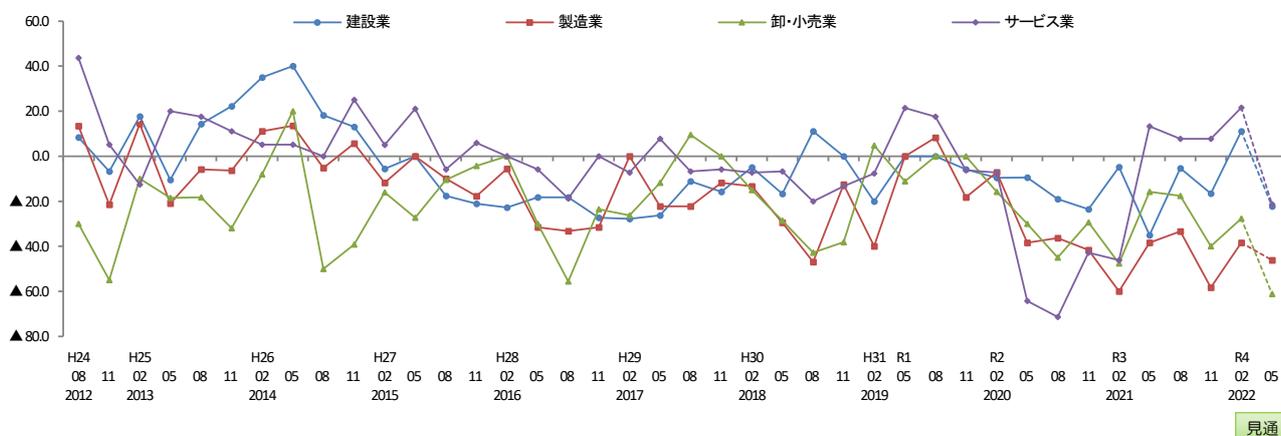
(2) 地域別 D I 値の動向

① 県北

「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」は▲7.9 (前回調査比 19.1 ポイント上昇) と 2 期ぶりの改善となった。業種別では、4 業種すべてで改善となり、建設業とサービス業ではプラス超となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲38.1 (今回調査比 30.2 ポイント悪化) と大幅な悪化が見込まれている。業種別ではすべての業種で悪化が見込まれている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値 (前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

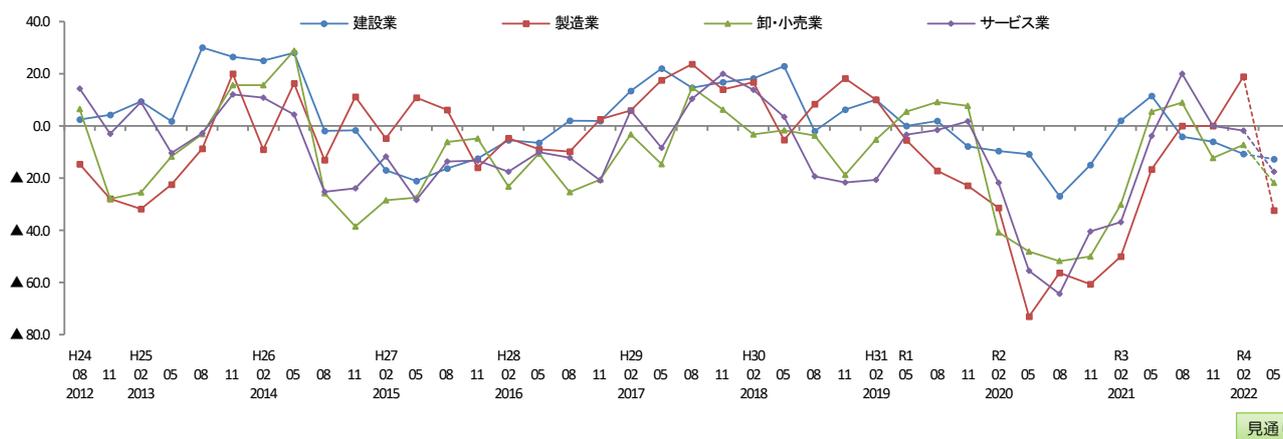
県北 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2021.02 (n=70)	▲ 37.1	▲ 4.8	▲ 60.0	▲ 47.6	▲ 46.1
2021.05 (n=67)	▲ 19.4	▲ 35.0	▲ 38.4	▲ 15.8	13.3
2021.08 (n=61)	▲ 11.4	▲ 5.3	▲ 33.4	▲ 17.6	7.7
2021.11 (n=63)	▲ 27.0	▲ 16.6	▲ 58.3	▲ 40.0	7.7
2022.02 (n=63)	▲ 7.9	11.1	▲ 38.4	▲ 27.7	21.5
前回調査比	(19.1)	(27.7)	(19.9)	(12.3)	(13.8)
先行き見通し	▲ 38.1	▲ 22.2	▲ 46.1	▲ 61.1	▲ 21.4
今回調査比	(▲ 30.2)	(▲ 33.3)	(▲ 7.7)	(▲ 33.4)	(▲ 42.9)

② 中央

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲1.5（前回調査比 3.3 ポイント上昇）と 2 期ぶりの改善となった。業種別では、建設業とサービス業が悪化となった一方、製造業と卸・小売業では改善した。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲20.4（今回調査比 18.9 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。業種別では、すべての業種で悪化が見込まれている。

図表 14 中央業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

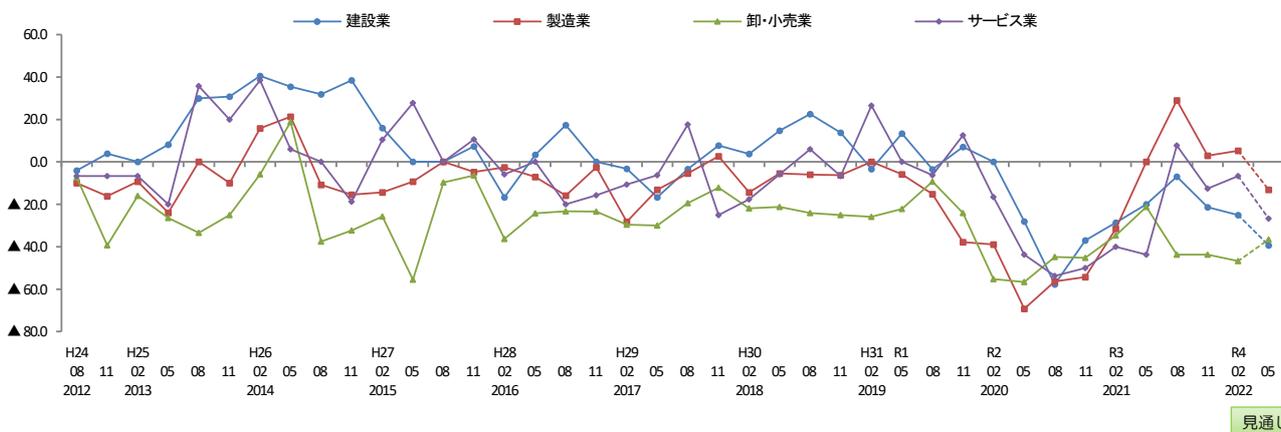
中 央 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2021.02 (n=194)	▲ 27.3	2.0	▲ 50.0	▲ 30.2	▲ 36.9
2021.05 (n=195)	0.5	11.5	▲ 16.7	5.4	▲ 3.8
2021.08 (n=198)	7.0	▲ 4.1	0.0	8.9	20.0
2021.11 (n=189)	▲ 4.8	▲ 6.1	0.0	▲ 12.3	0.0
2022.02 (n=196)	▲ 1.5	▲ 10.7	18.9	▲ 7.3	▲ 1.8
前回調査比	(3.3)	(▲ 4.6)	(18.9)	(5.0)	(▲ 1.8)
先行き見通し	▲ 20.4	▲ 12.8	▲ 32.4	▲ 21.8	▲ 17.5
今回調査比	(▲ 18.9)	(▲ 2.1)	(▲ 51.3)	(▲ 14.5)	(▲ 15.7)

③ 県南

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲18.0（前回調査比 1.3 ポイント上昇）と 2 期ぶりの改善となった。業種別にみると、建設業と卸・小売業で悪化となった一方、製造業とサービス業では改善した。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲27.9（今回調査比 9.9 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、卸・小売業で改善が見込まれる一方、その他の 3 業種ではいずれも悪化が見込まれている。

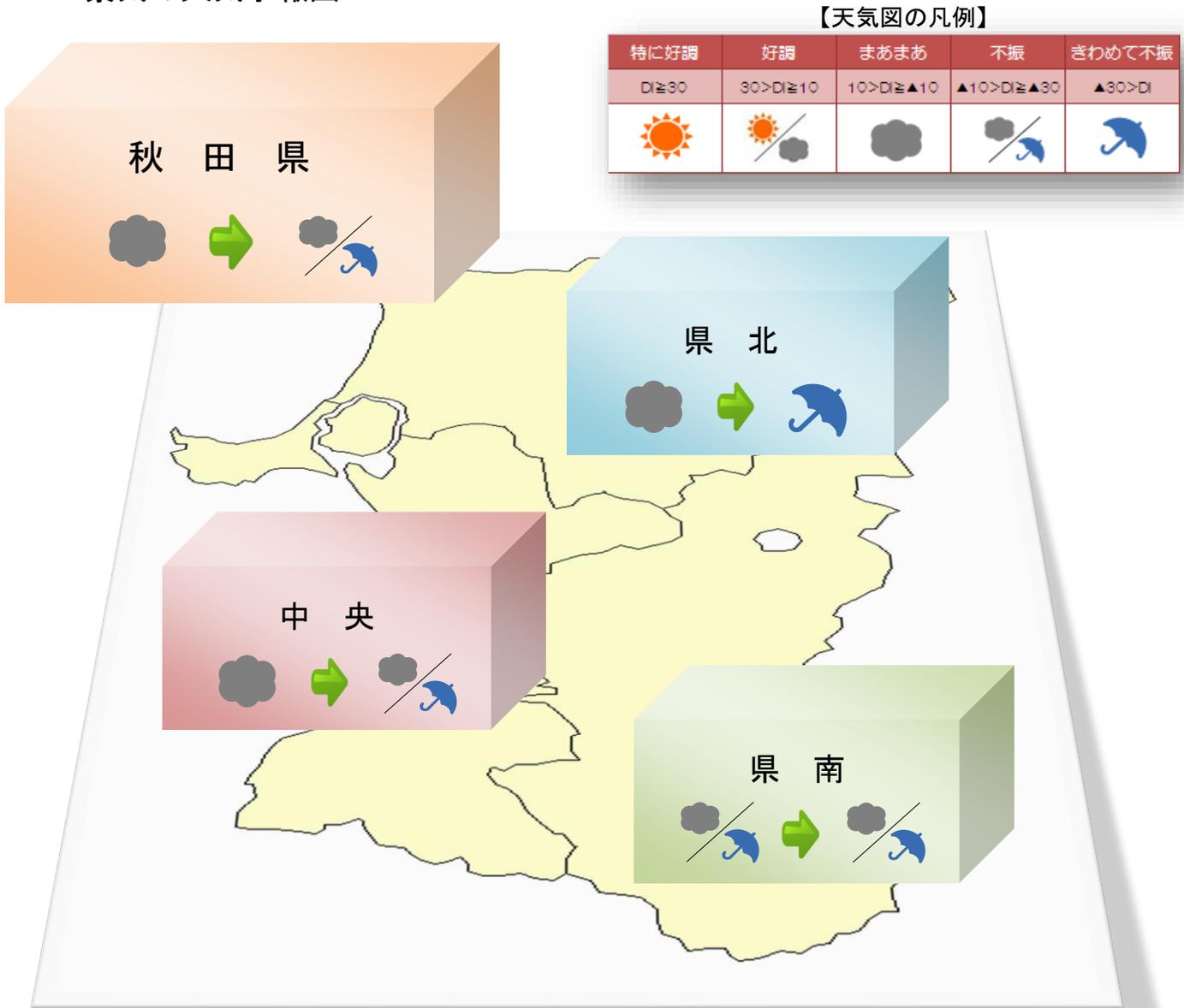
図表 15 県南業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

県南 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2021.02 (n=104)	▲ 32.7	▲ 28.6	▲ 31.5	▲ 34.7	▲ 40.0
2021.05 (n=116)	▲ 17.3	▲ 20.0	0.0	▲ 21.2	▲ 43.7
2021.08 (n=105)	▲ 5.7	▲ 6.9	29.0	▲ 43.8	7.7
2021.11 (n=109)	▲ 19.3	▲ 21.4	3.0	▲ 43.7	▲ 12.5
2022.02 (n=111)	▲ 18.0	▲ 25.0	5.3	▲ 46.7	▲ 6.6
前回調査比	(1.3)	(▲ 3.6)	(2.3)	(▲ 3.0)	(5.9)
先行き見通し	▲ 27.9	▲ 39.3	▲ 13.1	▲ 36.6	▲ 26.7
今回調査比	(▲ 9.9)	(▲ 14.3)	(▲ 18.4)	(10.1)	(▲ 20.1)

Ⅱ. 景気の天気予報図



今期の概況

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

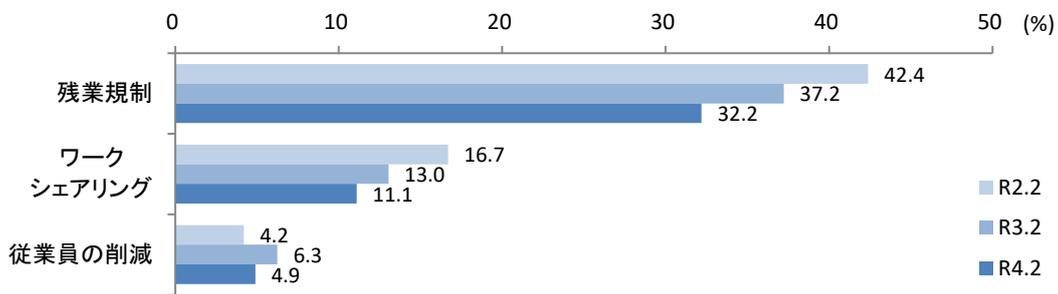
Ⅲ. 特別調査

1. 雇用調整について

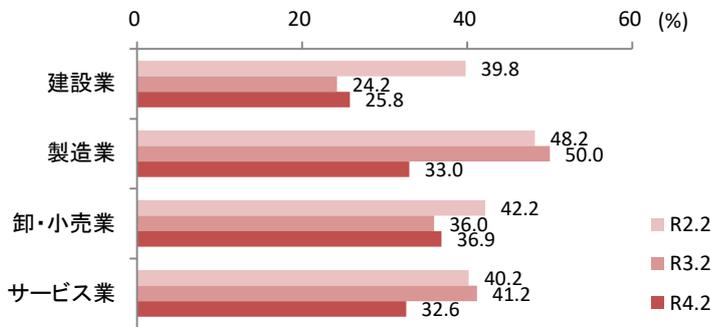
令和 3 年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について尋ねたところ、実施している企業の割合は、「残業規制」が 32.2%（前年調査比 5.0 ポイント低下）、「ワークシェアリング」が 11.1%（同 1.9 ポイント低下）、「従業員の削減」が 4.9%（同 1.4 ポイント低下）と、いずれも前年に比べて低下した。

実施している企業の割合が最も高いのは引き続き「残業規制」で、3 割台となっている。

図表 16 雇用調整の実施状況

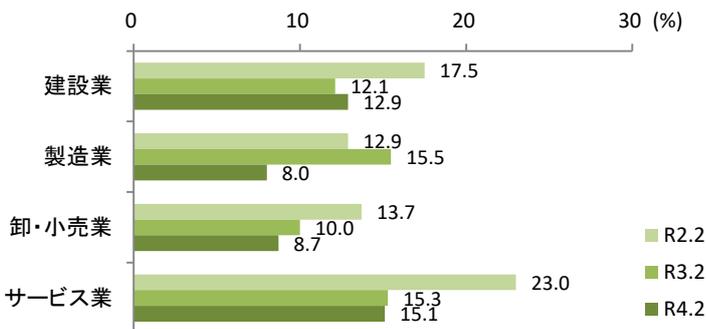


図表 17 業種別「残業規制」の実施状況



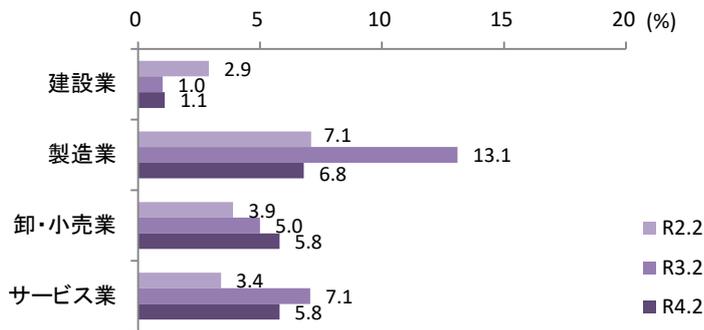
「残業規制」を実施した企業の割合は、前年調査と比較すると、建設業と卸・小売業では上昇となった一方、製造業とサービス業では低下となった。最も割合が高いのは卸・小売業の 36.9%で、製造業（33.0%）、サービス（32.6%）とともに 3 割台となっている。一方、建設業では 2 割台となっている。

図表 18 業種別「ワークシェアリング」の実施状況



「ワークシェアリング」を実施した企業の割合は、前年調査と比較すると、建設業で上昇となった一方、その他の 3 業種ではいずれも低下となった。実施した企業の割合は、建設業とサービス業では 1 割台、製造業と卸・小売業では 1 割未満となっている。

図表 19 業種別「従業員の削減」の実施状況



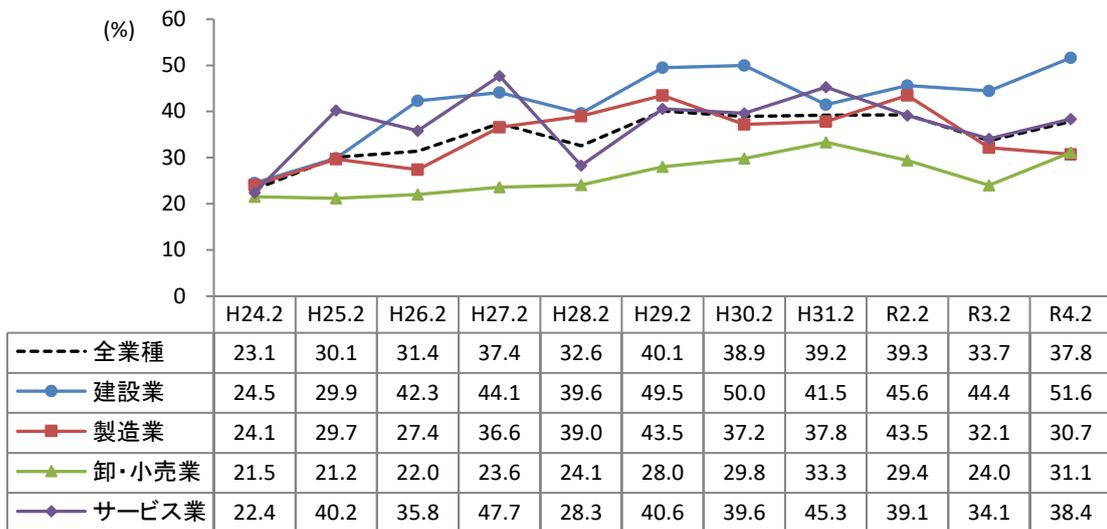
「従業員の削減」を実施した企業の割合は、前年調査と比較すると、建設業と卸・小売業では幾分増加となった一方、製造業とサービス業では低下となった。実施した企業の割合は、いずれも1割未満と低い割合となっている。

2. 新卒者の採用状況について

来年度（令和4年度）の新卒者の採用状況（採用する）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種では37.8%（前年調査比4.1ポイント上昇）と2期ぶりの上昇となった。

業種別では、製造業で低下したものの、その他の3業種ではいずれも上昇となっている。

図表 20 業種別「新卒者の採用状況」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	22	17	24	19	82
中央	65	50	69	76	260
県南	36	51	40	20	147
合計	123	118	133	115	489

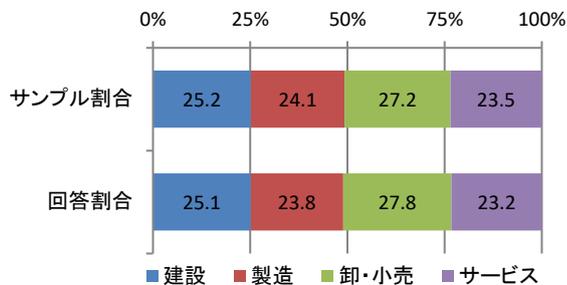
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	18	13	18	14	63
中央	47	37	55	57	196
県南	28	38	30	15	111
合計	93	88	103	86	370

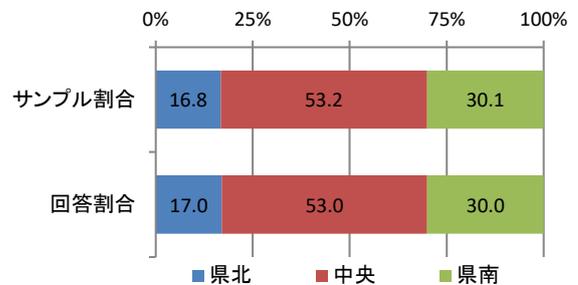
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	81.8	76.5	75.0	73.7	76.8
中央	72.3	74.0	79.7	75.0	75.4
県南	77.8	74.5	75.0	75.0	75.5
合計	75.6	74.6	77.4	74.8	75.7

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

2022年2月1日（火）～16日（火）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、湯上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製 (商) 品の仕入価格 (卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる。

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」 (「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研 秋田事業所 地域政策コンサルティング部 後藤/佐藤

・ 秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 3F

TEL : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

・ 山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F

TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp

URL : <https://www.fir.co.jp/>